

まちづくり提言の公表（令和3年11月受付分）

※回答内容は、回答した当時の内容を掲載しています。

件名	ご意見の内容(一部を要約しています。)	回答内容(一部を要約しています。)	担当課
徳山大学公立化について	①公立化をして授業料等を安くして若者を市内に集める方法としては賛成。 ②学部で看護科を作るだけというのは反対。 ③科学技術科を作るべし。徳山の地域性を考えると、太陽光利用には土地が無さすぎる。日本の中でこれだけ科学系の企業が集まっているのは大きな特色なので、水素エネルギー利用開発について各企業から参加させると日本一の学科ができると思う。市長が各企業をまわり資本、技術者、学者を集めるのが大きな仕事だと思う。	①御意見のとおり、公立化をすることで学費の低廉化等により、意欲ある優秀な人材の確保や大学の質的向上が図られると考えております。 ②③新学部学科設置については、既存の「経済学部」から「経済経営学部」、新設する看護学科とスポーツ健康科学科を含む「人間健康科学部」、山口県内初となる「情報科学部」、以上の3学部を設置予定としております。なお、ご提案いただいた科学技術科等の理工系学部の設置については、地元企業は即戦力となる高校・高専からの採用が多いこと、また、県内他大学・高専との関係や多額の施設整備の投資が必要なことから、将来の課題であると認識しております。	企画課
小中学生の駅前建築現場の見学について	小中学生に駅前の建築現場を見学させるといいと思う。理由としては、見学をすることによって建築等に興味を持つことがあること、10～20年後振り返った時に懐かしさを覚え、それらが郷土愛を生むことがあること、実際に働いている現場を見ることによって感動を味わうことができることが挙げられる。	ご提案いただきました建築現場の見学につきましては、児童生徒の安心安全の観点から困難と考えております。しかしながら、徳山駅前で実施されている市街地再開発事業は、中心市街地活性化の理念である「公園都市(パークタウン)周南」を自分たちが知り、郷土愛を育む貴重な機会であることから、授業で「周南市」をテーマに学習する際の教材の一つとして小中学校に紹介してまいります。	学校教育課
花火大会について	先日、県外他市の花火大会を見ました。コロナ禍でみんなが不安なこの世の中で花火はとても大きな勇気をくれました。花火はとてもいいものです。ぜひ周南市でも花火大会を増やしてほしいです。	現在、周南市では、年2回、夏の「サンフェスタしんなんよう」、冬の「かの冬花火 銀嶺の舞」で花火大会が開催され、市が支援を行っています。新型コロナウイルスの影響により、「サンフェスタしんなんよう」は、残念ながら昨年続き今年も中止となりましたが、「かの冬花火 銀嶺の舞」は、12月に開催されます。市といたしましては、現在の花火大会の魅力を高め、市内外から多くの観光客にお越しいただき、また、市民の方が元気になっていただけるよう官民一体となって取り組んでまいりたいと考えております。	観光交流課